

放置自動車整理簿(1) **記載上の留意点**

県有地・県管理地の管理担当所属にて記載。

担当所属							
確認	発見者(職員)			発見日	平成 年 月 日		
	通報者			通報日	平成 年 月 日		
	通報者住所・電話番号等						
	(放置場所・放置時期・放置状況等の情報)						
<p>放置自動車の確認時点で収集済の情報を記載。特に放置時期については確実に情報収集し記載すること。</p>							
現場調査	調査日	平成 年 月 日	調査職員				
	調査警察官	<p>最初の現場調査日。 <例>〇〇警察署〇〇課 〇〇 〇〇</p>					
	放置場所	所在地	<例>〇〇市〇〇町地内				
		区分	道路	<例>国道〇〇号線(県道〇〇線)	河川	<例>〇〇川河川敷	
			海岸		港湾		
			公園		住宅	<例>県営〇〇住宅駐車場	
			漁港		その他	<例>県立〇〇病院駐車場	
	管理者	<例>三重県知事					
	自動車の状態	メーカー		ナンバープレート	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	車台番号が削ら	
		車名		車台番号	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ごみ・サビ等により車台番号の判読が不能な場合。	
		種別	<input type="checkbox"/> 普通・小型 <input type="checkbox"/> 軽	保管場所標章	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	車体を破損しない限り車台番号の判読不能	調査不能
			<input type="checkbox"/> その他()	検査標章	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ナンバープレート・車台番号ともに不明の場合	調査不能
		塗色		点検整備済標章	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		ドアの施錠	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	自動車検査証等	<例>車内に残存(別紙参照)。車台番号判明。		
ボンネット	<input type="checkbox"/> 開 <input type="checkbox"/> 閉	※自動車の状態の詳細等は、別紙「自動車廃物認定基準」へ。					
ドアの解錠	解錠調査	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	解錠日	平成 年 月 日			
			解錠立会警察官	<例>〇〇警察署〇〇駐在 〇〇 〇〇			
警告書	貼付日	平成 年 月 日	貼付場所	<例>フロントガラス運転席側			
写真撮影	撮影日	平成 年 月 日	撮影箇所	別添写真参照			
(放置時期等の聞き取り情報)							
<p>最初の警告書貼付日及び写真撮影日。</p> <p>写真撮影の留意点は、別紙「自動車廃物認定基準」参照。</p>							
関係機関照会等	警察	(警察関係の情報)					
		<p><例>〇〇警察署〇〇氏より、盗難等の事件性は確認されなかった旨の連絡あり。(平成〇年〇月〇日)</p> <p><例>〇〇警察署〇〇氏より、保管場所標章から所有者が判明した旨の連絡あり。(平成〇年〇月〇日)</p>					
	運輸支局等	廃棄物・リサイクル課依頼	依頼日	平成 年 月 日	報告受領日	平成 年 月 日	
		廃棄物・リサイクル課の照会先	<input type="checkbox"/> 運輸支局 <input type="checkbox"/> 軽自動車検査協会 <input type="checkbox"/> その他()				
		回答結果	登録事項等証明書等	<input type="checkbox"/> 有(別紙(写)参照) <input type="checkbox"/> 無			
			(所有者住所・氏名等)	照会の結果、運輸局等に該当ファイル無しの場合。			
	(使用者住所・氏名等)	使用者が所有者と異なる場合は確実に記載。					
	検査証有効期間満了日	平成 年 月 日		登録事項等証明書等から転記。(無の場合)			
	<input type="checkbox"/> 永久抹消済 <input type="checkbox"/> 一時抹消済 <input type="checkbox"/> 検査証返納済	平成 年 月 日					

放置自動車整理簿 (2)

所有者等調査・移動保管・撤去勧告等	(年月日)	(内容)			
	所有者等調査の進捗状況等について、経過を時系列で記載していく。				
	<例1>	<例1>			
	平成〇年〇月〇日	・登録上の所有者(使用者同)に撤去依頼文書(配達証明郵便)を送付。			
	平成〇年〇月〇日	・配達証明郵便が相手方不在で返送。			
	平成〇年〇月〇日	・登録上の所有者住所地の〇〇市役所に住民票を公用請求。			
	平成〇年〇月〇日	・〇〇市役所から回答あり。△△市へ住所変更済の旨確認。			
	平成〇年〇月〇日	・△△市の現住所へ撤去依頼文書(配達証明郵便)を送付。			
	平成〇年〇月〇日	・配達証明郵便が受領された旨の返信郵便あり。			
	平成〇年〇月〇日	・2度目の現場調査を実施。(調査職員 〇〇 〇〇/別紙廃物認定基準及び写真参照)			
	平成〇年〇月〇日	・本人から連絡が無く、再度撤去依頼文書(配達証明郵便)を送付。			
	平成〇年〇月〇日	・配達証明郵便が受領された旨の返信郵便あり。			
	平成〇年〇月〇日	・本人から電話があり、放置の事実を認め、近日中に撤去するという返事。本人に電話番号確認。			
	平成〇年〇月〇日	・撤去されないため、再度電話連絡したが、同じく近日中に撤去するという返事。			
	平成〇年〇月〇日	・撤去されないため、撤去勧告文書(配達証明郵便)送付。			
<例2>	<例2>				
平成〇年〇月〇日	・登録上の所有者(使用者同)に撤去依頼文書(配達証明郵便)を送付。				
平成〇年〇月〇日	・配達証明郵便が相手方不在で返送。				
平成〇年〇月〇日	・登録上の所有者住所地の〇〇市役所に住民票を公用請求。				
平成〇年〇月〇日	・〇〇市役所から回答あり。住所は変更していない旨確認。				
平成〇年〇月〇日	・住所地へ現地訪問し、空家状態である旨を確認。				

市町等への住民票照会結果、配達証明郵便等の受領状況等については、所有者等調査における重要事項であり、確実に記載すること。

自主撤去・廃物認定・処分	自主撤去	連絡受領日	平成 年 月 日	現場確認日	平成 年 月 日	
	廃物認定委員会	□ 有	開催日	平成 年 月 日		
			答申	<input type="checkbox"/> 廃物判断可 <input type="checkbox"/> 要再調査 (<例>所有者等, 車体の状況) <input type="checkbox"/> 廃物判断困難 (<例>6か月告示妥当) <input type="checkbox"/> その他 ()		
		再諮問	開催日	平成 年 月 日		
			答申	<input type="checkbox"/> 廃物判断可 <input type="checkbox"/> 要再調査 () <input type="checkbox"/> 廃物判断困難 () <input type="checkbox"/> その他 ()		
	□ 無					
	廃物認定	告示	廃棄物・リサイクル課依頼日	平成 年 月 日	告示日	平成 年 月 日
		撤去告知書	貼付日	平成 年 月 日	貼付場所	<例>右前側ドア
		廃物認定日	平成 年 月 日			
	廃物認定困難	告示	廃棄物・リサイクル課依頼日	平成 年 月 日	告示日	平成 年 月 日
		撤去告知書	貼付日	平成 年 月 日	貼付場所	
		3か月経過日	平成 年 月 日			
	処分	引取業者名	自動車リサイクル法に基づく引取業登録業者。			
		引取日	平成 年 月 日	引取証明書受領日	平成 年 月 日	

備考	(処分費用、寄付金申請、所有者等費用請求関係)	
	(その他)	「放棄車両引取システム実務詳細マ

放置自動車整理簿 別紙「自動車廃物認定基準」

メーカー 車名	調査	大破又は 腐食著しい	中破又は 腐食進行	小破又は 腐食目立	備考
外装	ドア(フェンダー)ミラー				
	※ フロントガラス				
	リアガラス				
	サイドガラス				
	塗装(サビ)				
	ヘッドライト				
	テールランプ				
	積載装置(荷台等)				
	※ 車枠・車体				
	ドア類				
内装	バンパー				
	メーター類				
	キーボックス				
	※ 運転席の座席				
	座席(運転席以外)				
走行及び 操縦装置	ルームミラー				
	※ アクセル・ペダル				
	※ ホイル・タイヤ				
	※ ステアリング・ハンドル				
	ギア・ボックス				
	ロッド・アーム類				
	かじ取り車輪				
	パワー・ステアリング				
	※ ブレーキ・ペダル				
	駐車ブレーキ・レバー				
制動装置	ブレーキのロッド、ケーブル				
	ブレーキ・ホース、パイプ類				
	マスタ及びホイル・シリンダ				
	ドラム、ブレーキ				
	ディスクブレーキ				
	制動倍力装置				
	エア・ブレーキ				
	※ エンジン本体				
	排気管				
	冷却系統				
原動機	吸・排気系統				
	始動装置				
電気装置	点火装置				
	発電装置				
	配線関係				
	※ バッテリー				

【調査項目の留意点】

●「※印」の項目は、自動車の走行に必要な装置として特に主要な部分であり、破損等の状況が廃物判断に大きく影響するため、可能な範囲で確実に調査を行うこと。

【写真撮影の留意点】

- 次の点が確認できる写真は確実に撮影すること。
- 放置場所を含めた放置の全体状況。
- 室内及びボンネット内の状況。
- 「※印」の項目の破損等状況。
- ナンバープレート有の場合は番号の判読。
- (可能な範囲で) 車台番号の判読。

複数回の現場調査を行った場合、その旨(調査日等)を備考欄へ記入。

整理番号等	調査	大破又は 腐食著しい	中破又は 腐食進行	小破又は 腐食目立	備考
燃料装置	キャブレータ				
	※ 燃料タンク				
	噴射ポンプ、高圧パイプ				
動力伝達装置	※ クラッチ・ペダル				
	※ プロペラ・シャフト				
	※ ドライブシャフト				
	デファレンシャル				
	リヤ・アクスル・ハウジング				
	A/T・M/T	<input type="checkbox"/> A/T	<input type="checkbox"/> M/T		
緩衝装置	シャシばね				
	連結部、取付部				
	ショック・アブソーバ				
	独立懸架装置				
	トルク・ロッド				
エア・サスペンション					

- 調査できた項目の「調査」欄にレ点のうえ、破損等の状態について該当欄に○をすること。
- 大破・・・滅失又は概ね2分の1以上の破損(通常復元が困難)
- 中破・・・概ね2分の1未満4分の1以上の破損(通常復元が困難)
- 小破・・・概ね4分の1未満の破損(通常復元が困難)
- 調査できた範囲において記入すること。

【放置の状況】

・車台番号が削り取られている。	該当欄に○を すること。
・室内のごみの散乱が大量にある。	
・山中に放置されている等、状況から判断して投棄した可能性が高い。 (その他放置の状況)	

調査日 平成 年 月 日 調査職員

◎ 事務局使用欄

破損等の状態	箇所数	点数	廃物認定委員会	平成 年 月 日
大破(※項目)			(委員会審議記録・廃物判断可否等)	
大破(※以外)				
中破				
小破				
計				
廃物認定基準 該当 ・ 非該当				

